

校長室だより

日本福祉大学附属高校 2016年1月8日

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



(始業式式辞要旨)

明けましておめでとうございます

○戦後がずっと続くために

昨年戦後70年の節目の年でした。戦争や平和をめぐって様々な論議や動きがありました。今年は戦後71年目となります。戦争のない平和な世の中がずっと続くことを願います。そのためには何が必要でしょうか。まず「知る」ことから始めてほしい。昨年の文化祭は「戦後70年」を主題にとりくんだり、2年生は沖縄修学旅行で、戦争の悲惨さを学んできました。昨年だけのとりくみに終わらせるのではなく、引き続き戦争や平和について、学ぶことを継続してほしいと思います。若者が社会に与える影響は大変大きいと言えます。今年は18歳選挙権が実現する歴史的な年です。大事に行使してください。

○未来を展望して、挑戦し続けよう

2020年東京オリンピック・パラリンピック、2027年リニア開通 車の自動運転実用化など未来は大きく変わろうとしています。「2011年度に小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く」とはアメリカの大学の先生の未来予測ですが、それだけ、ICTなどの技術が進み、行う仕事の内容が変わってくるということを予測しているのでしょう。答えが用意されているわけではありません。自分で考え、解決する力が必要です、一方で夢が実現できる時代でもあります。失敗を恐れず、頑張ろう。「失敗したことがない人は新しいことに挑戦したことがない人である」(アインシュタイン)

○目標を持つこと

2学期の終業式で、私は皆さんに2つ宿題を出しました。1つ、冬休み中、最低3冊は本を読む。2つ、来年の目標を決めてさっそく取り組み始めよう、の2つです。できましたか。目標を持つと、意識が変わります。意識が変わると行動が変わる。行動が変わると生活が変わります。始めからあきらめてはいけません。It is never too late to get started. (始めるのに遅すぎることはない)今年1年、目標を持ち、それを叶えるための意識的な生活を送ってほしいものです。

○一期一会

一期一会とは元は、茶道に由来する言葉ですが、茶会に臨む際には、その機会は二度と繰り返されることのない、一生に一度の出会いであるということを心得て、主・客ともに互いに誠意を尽くす心構えを意味します。茶会に限らず、広く「あなたと出会っているこの時間は、二度と巡っては来ないたった一度きりのものです。だから、この一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしをしましょう」という意味で用いられ、さらに「これからも何度でも会うことはあるだろうが、もしかしたら二度とは会えないかもしれないという覚悟で人には接しなさい」と戒める言葉でもあります。今年皆さんはどういう出会いがあるのでしょうか。新しい出会いを大切に、また楽しみにして、今年1年を過ごしてください。受験生諸君はセンターまであとわずか、あきらめず最後まで努力を。

ありがとうございました

～後援会から助成をいただきました～

2学期の終業式後、本校の後援会(森田勉司会長)から教育・課外活動に対する助成の授与式がありました。内容は、部活動や文化祭の援助、英検や語学研修、介護職員初任者研修修了、国際交流助成、和太鼓部全国大会褒賞など総額は386万5140円です。生徒諸君にとって大きな励みとなります。更にそれぞれの活動に励んでもらいたいと思います。

スポーツ科学部起工式挙行

6日、日本福祉大学のスポーツ科学部(仮称)の起工式が行われ、私も出席しました。新学部は(現在のテニスコート付近)、地上4階建て(アリーナ・各種実験室)・屋内温水プール・人工芝テニスコートなどが建設されます。2017年度開設予定です。附属高校の利用も可能です。完成が楽しみです。